

みたけだより

第 **312** 号

● 発行 ●
令和7年7月



ふみだすー歩きびーん!

私たちの働く仲間

令和7年度は新任職員が多く、フレッシュなスタートとなりました。前から勤務している職員が、新しい職員へ丁寧に仕事を教えている姿が随所に見られ、施設長としては嬉しいと思います。一方で不慣れなところから事故やアクシデントが発生しないようにと、各リーダー、職員が注意をはらって勤務にあたっており、まずは順調な滑り出しとなっております。

さて、みたけの杜グループには105人の職員がいますが、その中の2人、みたけの杜の労務員をご紹介します。

まずは勤続22年目となる、中村由信さんです。



由信さん 施設の床をピカピカに磨き上げます

働き、その後みたけの園（現みたけの杜）で清掃の仕事を始めました。勤続22年ともなると仕事に慣れ、どうしても自分流になってしまします。この4月に副施設長が改めて仕事内容のオーダーを出したとき、由信さんは「だんだん仕事が難しくなるね」と言ったそうです。副施設長が「そうだよ、私も去年より仕事が難しくなってるんだよ」と言い、二人の間にビビビと仲間意識が生まれたのでしょうか、由信さんはオーダー通り、毎日汗をかいて施設をピカピカに磨き上げてくれています。

次に、主に洗濯業務を担当している福島ミドリさんです。ミドリさんは一般企業で14年清掃

みたけの杜労務員ご紹介!!

施設長 與羽 州子



左から與羽施設長、福島ミドリさん、中村由信さん

※記事の内容については、お二人に了承を得たうえで掲載しています。

の仕事をしたあと、みたけの園（現みたけの杜）に就職し、洗濯と清掃を受け持ち勤続8年目、住まいもグループホームから単身アパートへステップアップしてきました。順調な社会人生活の中、昨年38歳の時にミドリさんに大きな病気が見つかりました。がんでした。そこから、仕事をしながらの抗がん剤治療、手術を経て、現在は放射線治療30日間を終えたところです。苦しい抗がん剤治療の最中は、体力が落ち、仕事ができなくなり施設やグループホームの短期入所を利用したり、多くの人の支えと励ましがありました。それは、素直に自分を見つめ、表現し、前向きに闘病するミドリさんの姿が周囲の人達の胸を打ったからです。しばらく治療と仕事の二刀流が続きますが、みたけの杜になくはない人材のミドリさんを、働く仲間全員で応援しています。



ミドリさん 洗濯物を手際よくさばきます

令和6年度 みたけの杜グループ苦情解決に関する取組状況

昨年度みたけの杜グループでは、4件の苦情が寄せられましたのでご報告します。

苦情の種類	内 容	対 応
① みたけの杜 職員接遇	職員の支援時の言動について、利用者個々の特性を理解し、優しい言葉・トーンで対応してほしい。	望ましい支援方法の検討等、具体的事例を通してのグループワークによる学び合いを実施しました。継続して適切な接遇に関する意識の醸成に努めてまいります。
② 共同みたけ 説明・情報 提供	短期入所の利用ホームが思っていたホームと違っていた。事前に説明をしてほしい。	状況などにより変更する場合もあるため、事前説明を丁寧に行うよう徹底してまいります。
③ 共同みたけ 迷惑行為	松の木ハウスの早朝(5:30)の生活音を、改善してほしい。	近隣住民への迷惑行為とならないよう、利用者個々に応じた対応の工夫を重ねてまいります。また、地域の皆様に理解を深めていただけるよう、地域自治会への参加や行事の開催による交流などの機会を増やしてまいります。
④ 共同みたけ 迷惑行為	自宅前でのタイヤ交換時にじっと見られて怖かったのでやめてほしい。	

「経営理念」

岩手県社会福祉事業団は、極めて公共性の高い組織として、全ての人が相互に人格と個性を尊重し合いながら、共に生きる豊かな社会の実現に貢献します。

「経営基本方針」(行動指針)

- ① お客様本位の良質かつ適切なサービスの提供
- ② 地域福祉の推進
- ③ 人材確保・育成と働きがいのある職場づくり
- ④ 信頼される組織運営と経営の安定・強化

「みたけの杜 重点事項」

- ① 「ほめる・みとめる・よりそう」支援
- ② 地域移行、地域生活を維持する支援の充実
- ③ 地域ニーズに対応したセーフティネット機能の発揮
- ④ 事業のあり方検討と収支改善への取り組み
- ⑤ 「称賛・承認・共感」を伝え合う「お互いさま」の職場づくり



New Member

異動・新職員の紹介

＼みたけの杜／



生活支援員
猪川 生人

＼みたけの杜／



生活支援員
岡田 美香

＼みたけの杜／



生活支援員
寺山 伶那

＼みたけの杜／



事務
佐藤 真由美

共同
生活事業所
＼みたけ／



生活支援員
工藤 佳音

共同
生活事業所
＼みたけ／



生活支援員
盛合 美幸

放課後等
デイサービス
＼ぼけっと／



児童指導員
阿部 有花

地域生活
支援センター
＼かんばす／



生活支援員
佐藤 美保

みたけの郷指定居宅介護支援事業所は、介護支援専門員2名がケアマネジメント業務にあたっています。今年3月にみたけの杜敷地内にある放課後デイサービス「ぼけっと」、相談支援事業所「みたけ」と同じ建物内に移転しました。

居宅介護支援事業所の主な事業内容は、介護保険サービスを利用する際の相談や支援業務です。介護が必要な状況となっても、その人らしく自立した生活を送れるように、利用者様、家族様に寄り添った支援を心がけております。特に地域の方からの相談には迅速に対応できるようにしています。また、医療支援が必要な方にも関係機関との連携を取り、心を込めた支援が継続的に出来るように心掛けています。

これからも、事業団の一員として、利用者様の人格、尊厳を尊重し、常に利用者様の視点に立って日常生活の支援を行っていきたいと思っています。

みたけの郷
ケアマネ事業所
の紹介



シルク印刷作業のご紹介

昨年度から工房来夢では、新しい作業として「シルクスクリーン印刷」を始めました。

シルクスクリーン印刷とは、メッシュ状の版にインクを乗せ、1色ずつ細かい穴から手作業でインクを押し出すことにより印刷する方法で、Tシャツやタオルなどの布製品からプラスチックや金属製品などに印刷できる技術です。

昨年は、タオルやハンカチの印刷を受注し、岩手県障がい者スポーツ大会や障がい者文化芸術祭などの記念品として納品させていただきました。

お客様のご要望にお応えしながら、一つ一つ丁寧に作り上げていましたので、ご興味があれば、是非右記までお問い合わせください。



おもちゃ図書館「ふらね」について、ご紹介いたします

Q おもちゃ図書館「ふらね」って、なにをするところ？

おもちゃ図書館「ふらね」では、年齢に合わせたおもちゃや絵本を用意しており、無料で、障がいのあるなしにかかわらず、0歳からのお子様と保護者、地域住民の方など自由に遊ぶことができます。赤ちゃんからおじいちゃんやおばあちゃんまで、また、障がいのある人もない人も共に遊び、交流し、育ちあう場所として、みなさまにご利用いただけます。



Q おもちゃや本は貸し出ししているの？

ひとり2つまでを1週間、貸し出しをしています。もちろん無料です。

Q 移動おもちゃ図書館はやっているの？

令和6年度から行っています。昨年度は、1歳6か月健診で行いました。乳幼児健診の他、地域のイベント等についてもご相談いただきたいと思います。

Q 「ふらね」って、どういう意味なの？

「ふらね」はフランス語で「お散歩」を意味し、気軽に立ち寄れる場所になっています。ぜひ、おもちゃ図書館ふらねに、ふらっと遊びにきてね！

Q おもちゃ図書館「ふらね」は、どこにあるの？

放課後等デイサービス「ぽけっと」の事業所内にあります。黄色いのぼり旗が目印です。



Q おもちゃ図書館「ふらね」は、いつできたの？

2023年7月7日に開館し、2年目を迎えています。

開館日などの詳細は、公式サイトでご確認いただけます。



寄付
寄贈

- 国分自治会様 雑巾29枚
- 元村南自治会虹の会 BOXティッシュ 5箱組×5

職員一同よりご厚情に感謝申し上げます。